

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	なまいきの生態を探る
Author(s)	小林, 照子; 須崎, 恵子; 榎本, 当子; 堀江, 久子; 依光, 玉恵
Citation	児童の言語生態研究 , 12 : 8 - 25
Issue Date	1985-05-01
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045131
Right	
Relation	



児童の言語生態合同調査・研究報告

なまいきの生態を採る

小林照子 堀江久子
須崎恵子 依光玉恵
榎本 当子

はじめに

一人の子どもをなまいきな子と見るか見ないかは、実に主感的な問題である。親から見ても大変なまいきな子でも、教師から見るとそれ程でもないことがある。その子どものどこがなまいきなのかと問われても、明解な答えを出せないことが多い。にもかかわらず、我々が子どもを評価する際に、改めてその概念を確かめなくてもだれにでもわかる見解としてよく用いるのがなまいきである。ここまでは、大人が子どもを見る際の問題であるが、子ども同士ということになると、なまいきの概念はますますあいまいになる。もともとなまいきは理屈で処理し切れない問題だということだけは明らかである。なまいきの生態を探ろうとしたとき、我々が最初につかつたのも、こ

の問題であった。日常よく使っていないが、改めてその概念を考えようとするとき、ほとんど無に等しかった。かといって、だれもがなまいきの実感を否定できないのだから、苦しい研究であった。今回の調査に用いたアンケートも、我々の実感をたよりに、なんとかなまいきの生態に近づこうとして作成したものである。よって、今回のアンケートの内容は、子どもがどれくらいなまいきか、といったなまいき度を測るものではなく、子どもがなまいきをどのように意識しているのかという、なまいきにかかわる子どもの意識を調べようとしたものである。

アンケートの内容は以下の通りである。まず問1・問2では、なまいきの実感の有無を確かめ、問3・問4では、自分のからだに関する意識、問5・問6では、自分のからだを包むもの

に関する意識、問7から問11では、人の中にある自分というものの意識を探ろうとした。問12・問13では、その子どもの意識の背景にあるものとして、家族の年令を問い、問14では、未来に向かう意識の一資料として、あこがれの人について尋ねた。

調査実施日は昭和59年7月で、調査校・調査人数は以下に示す表の通りである。

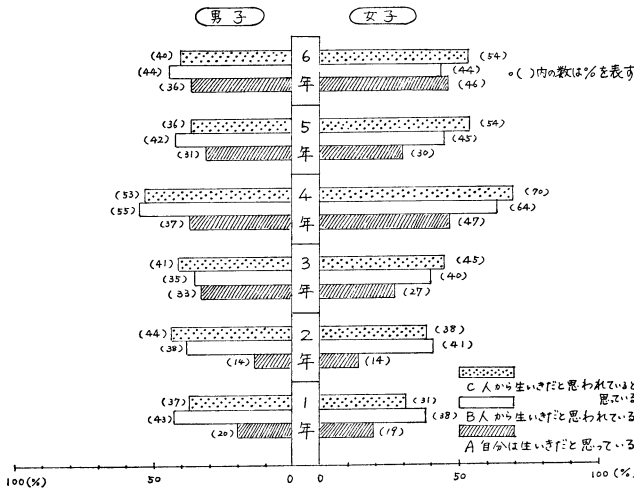
アンケートの結果として、「○」を付けて答えさせた問いについては、「○」を付けた児童数を、学年別、男女別に集計し、それぞれの児童数における割合を求めて、%で集わした。こうして作成したのが、集計表である。また、記述で答えを一覧表に作成した。以上の結果をもとに考慮を進めた。

〈なまいきの発生〉

—— 対人意識の変化によって
生じる自己評価 ——

1 生なまいきは思いこみから始まる
グラフ1は「問1、A、あなたは自分のことを生なまいきと思っていますか。B、思われていませんか。C、思われていないと思われていますか。」に、それぞれ「はい」と答えた児童の割合を棒グラフに表わしたものである。ここではまず、六年生女子のBを除いて全学年男女共にBとCの数値がAを上まわっているという点に注目したい。その差が一番小さい六年生でも4%／8%、一番大きい二年生となると29%／30%も、BとCがAを上まわっている。よって小学生では「自分は生なまいきだと思われているし人からも生なまいきだと思われる。」という子どもや、「自分は生なま

グラフ1 アンケートNO. 1



いきだと思ってるが人からは生いきだと思われていない。」という子どもよりも、「自分は生いきだと思っていないのに人からは生いきだと思われている。」という子どもの方が多いのだと言っている。ここでは小学生の生いきの実態として「一年生でさえ自分が思っている自分と人が思っている自分とは必ずしも一致しないことに気づいている。」ということ、「どの学年でも生いきの判定権を自分よりも自分以外の人に置こうとしている。」ということが明らかにされた。

小学生にとっても生いきを意識するということは、自分と人とのかわりに上まわっているということから考えることができる。すなわち思いこみとはいっても、それほど単純ではなく、相手の反応を自分がどのように感じとるかによって変化するのでないだろうか。そしてそういった微妙なゆれについては、二、三年の男子、三、四、五、六年の女子が敏感であると考える。

子どもにとつての生いきというのはどこにたどり着くかというよりも、ギリギリの線まで自分

を追い込んで行く姿勢に問題があるのではないだろうか。だとすると、人に向かって自分を追い込んで行くという点については積極的であっても、追いついた結果をどう評価するかという点についてはむしろ受け身で消極的だと考えることができる。生いきの判定権を自分以外の人間に置こうとしているのはそのためではないかと考えることができる。

以上の結果を考えあわせると次のように言える。二年生になると自分が自分以外の人からなまいきだと思われているか否かということが意識されるようになる。自分以外の人といつても二年生が一番強く意識しているのは同級生であるが、その他にも年上の人、特に兄や姉からどう見られているかという点にも敏感になる。そして同級生に対しては一年生の時より活発に、そのなまいき度を判定するようになる。

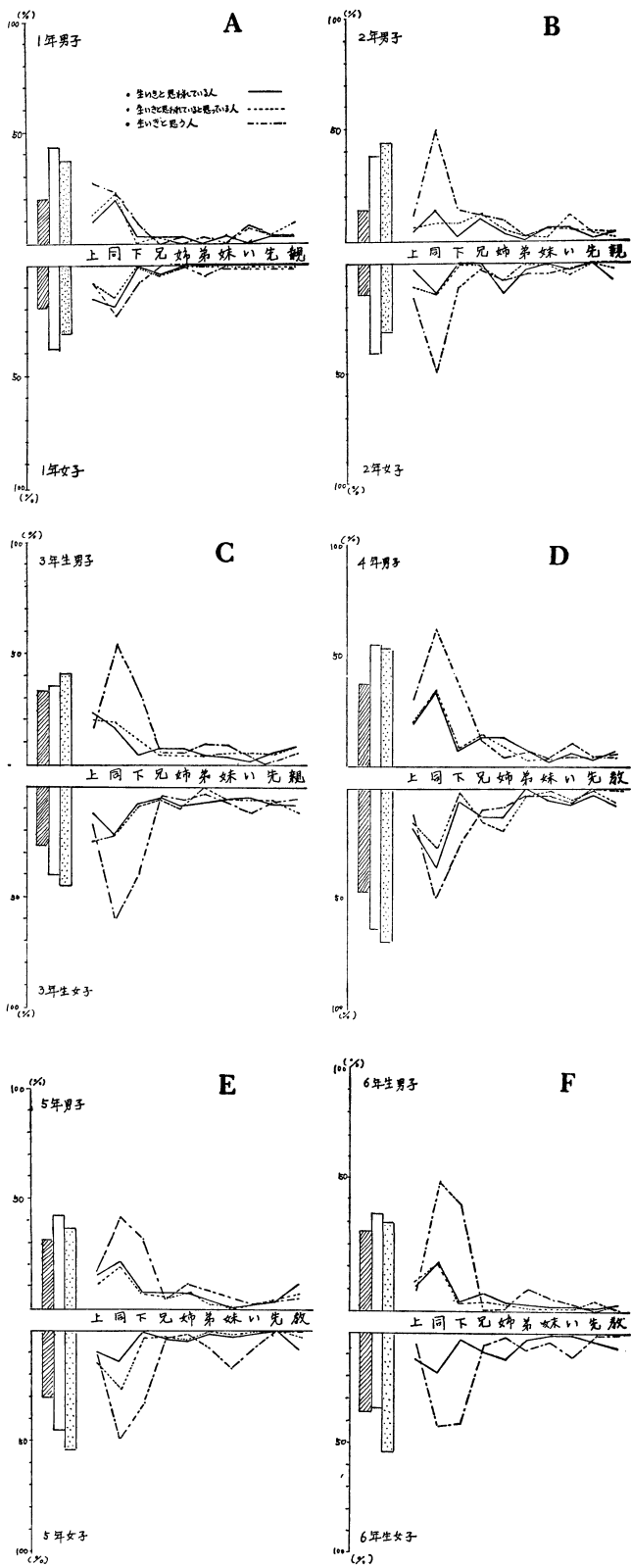
2 人からの評価が気になる二年生
全学年男女ともに、「B、思われています。」の数が、「C、思っています。」の数値が、「A、思っています。」を上まわっているという中で、その開きの一番大きいのが二年生である。それは二年生になるとBとCの数値が一年生より3/7%多くなり、Aの数値が5/6%少なくなっているためである。また二年生のAの数値は男女ともに14%で他のどの学年より低い。以上の結果から「自分のことをなまいきだと思っている子どもが一番少ないのは二年生である。」ということ、二年生はどの学年よりも生いきの判定権を自分以外の人に置こうとしている。」ということが明らかにされた。

しかしここで見がせないのは、二年生の約85%の子が自分で自分のことをなまいきだと思っていないと答えている点である。さらに問八の「自分のせいについて答えてください。」という質問に、「自分で自分がすき」と答えている子が二年生では男女ともに86%で、他のどの学年より高い数値であるということも重ねて考えてみたい。要するに人と人との間における自分とはいつても、二年生にとってはあくまでも自分が中心であり、自分を肯定した上で自分以外の人を評価しているのだということなのである。

グラフ2を見ると二年男子が、Bでは同級生と兄に、Cでは兄といとこに多く、二年生女子が、Bでは同級生と姉に、Cでは上級生と同級生に多く反応していること、さらに、なまいきだと思う人として、同級生と答えた数が男女ともに二年で二倍以上に多くなっていることがわかる。

くだけた言い方をすると「二年生は同級生及び兄や姉のことをなまいきだと思うくせに、自分で自分のことをなまいきだとは思わない学年である。」ということになるが、これは、教師との約束事を真剣に守り、守っていない子

グラフ2 アンケートNO. 1



どもを見つけると、さも大きなおてがらであるかのようにうれしそうなお顔で告げ口に来る二年生の実態とも一致している。

3 先輩や後輩にも意識を持ちはじめる三年生

グラフ2における二年生から三年生の変化には目を見張るものがある。まず「同級生からなまいきと思われている。」「同級生からなまいきと思われている。」と答えた子の数値が、二年生から三年生で2〜12%多くなっていること。同じように「同級生をなまいきだと思っている」と答えた子の数値も、二年生から三年生で2〜

11%多くなっていることが一点目である。

また「上級生からなまいきだと思われている。」と答えた子について見ると、二年生女子の3%と三年生女子の12%、二年生男子の4%と三年生男子の23%と、三年生の方が9〜19%も多くなっていること。同様に「上級生からなまいきだと思われている」と思っている。」と答えた子について見ても、二年生女子の11%と三年生女子の25%、二年生男子の6%と三年生男子の20%と、男女ともに三年生の方が14%も多くなっていることが二点目である。

さらに「下級生をなまいきだと思っている。」と答えた子について見ると、二年生女子の11%と三年生女子の40%、二年生男子の14%、三年生男子の35%と、ここでもまた三年生の方が21〜29%も多くなっているというのが三ポイントである。

ところが問一のBとC及び問二における兄や姉の反応となると、これらは反対に、三年生の数値が二年生の数値より少なくなっているというものも多い。

以上の結果から人と人との間における自分というものを意識する際に、二年生では「同級生や兄、姉とのかかわ

りが重要である。」としていたのが、三年生になると「同級生や上級生、下級生とのかかわりが重要である。」というように変化することが明らかになった。二年生から三年生になる間に子どもの意識世界は大きく広がるのであろう。特に対人関係意識に関しては、同級生、兄、姉といったごく身近な人を目を向けていた二年生の頃に比べると、三年生は同級生に対しても今まで以上に目を向けるだけでなく、下級生、上級生にも目を向けるようになるのだと考えることができる。また、三年生では男女ともに「自分は生いまだと思っている。」「自分は生いまだと思

われている。」と答えた子よりも、「自分はなまいきだと思われている」と思っている。」と答えた子の方が多かったという点を考え合わせると、前に述べた「思い込み」が活発になるのは三年生の頃からであると言えるのではないだろうか。

小学校の休み時間に、校庭の場所と争いで一番むきになるのも三年生、とくに一学期の三年生である。今までより広い範囲で、より自由に行動するためには、それだけ様々な人とぶつかり合わなければならぬ。時には教師に助けを求めながら下級生にも上級生にも向かっていく三年生、親の意見より友だちの意見に大きく左右される三年生、考えるより行動が先立ってしまう三年生の実態を思うと、三年生で対人関係意識の変革が起こるといふ考察には、なるほどと思わざるを得ない。

4 なまいきにこだわる四年生

グラフ1でも、グラフ2でも四年生の数値を見逃すことはできない。グラフ1では四年生で「A、自分はなまいきだと思っている。」「B、人からなまいきだと思われる。」「C、人からなまいきだと思われている」と思っている。」と答えた子が、どれも三年生に比べて4〜25%多くなっている。このよう四年生で多くなった数値が五年生六年生まで保たれているかというところではなく、反対に五年生になると6〜19%少なくなっているというのも興味深い。

グラフ2でも、同級生、上級生、下

級生、兄、姉のすべてにおいて四年生の数値が高くなっている。ここでは四年生で高くなった数値がそのまま五年生六年生と保たれる例もあるが、四年生より少なくなる例が多いのに比べて、四年生より多くなる例はわずかである。

以上の結果から対人関係意識ということについては四年生が最も敏感に反応するということがいえる。三年生で広がった自分の世界の中で、自分とつての人、人にとっての自分といったことについて、あらためて考え直しているのが四年生なのではないだろうか。人と人との間に生じる細いなことにも一つ一つ敏感に反応してしまうために、自分の思いはかえってゆれ動き、不安に落ち入りやすいのもこの時期だと考えられる。

ここで「問八、自分のせいしつについてこたえてください。」での反応を考えあわせてみたい。問八で「自分で自分がすき」と答えている子は三年生よりも7〜11%少なく、「自分が人からきらわれている」と答えている子は男女ともにどの学年より多くなっている。これらの結果からも「自分はなまいきだと思っていないが人からは思われているかもしれない」と思っている子どもでも、二年生の時のようにのん気になんか肯定しているわけではないということがわかる。

日常生活における四年生の特徴として第一に掲げられるのは、理屈っぽいということであろう。行動面でも三年

生までのような爆発的な即興性もあまり見られなくなり、考えてから行動することもできるようになる。よって教師からは、比較的安心して見ていられる、素直で聞き分けもよいといった印象でとらえられているのも四年生である。ところが父母会などでお母さん方から見た子どもの話をしていたら「口ごたえが多い」「なまいきなことばかり言う。」「言っても言うことを聞かない。」「など、三年生の時より手を焼くようになったという発言が多いのも四年生である。

今まで述べてきた結果から、「なまいき」ということについて最もこだわっているのは四年生である。「ということができるが、この「こだわり」というのは、まだ自分なりの選択が十分できないまま対人関係意識そのものが大きくゆれているための「こだわり」であって、自分なりの評価ができるようになるには、まだしばらく時間がかかるのだと言いうことが考えられる。

(八王子六小・小林照子)

〈なまいきの成立〉

優越意識と劣等意識

1 人の視線にこだわる女子

グラフ3では「問三、A、あなたは自分の体についていやだなあと思っていることがありますか。」という質問に「ある」と答えた児童の割合を、男女別に表わしてみた。どの学年も一様に男子よりも女子の方が高い数値を示している。しかも、女子は二年生以外の

表2 いやだなベスト5

* それぞれの数字を合計したもの。()内は女子

・学年別

学年	1	2	3	4	5
<1年>	きず (12)	32 (23)	23 (15)	15 (12)	12 (8)
<2年>	チビ (16)	29 (26)	26 (8)	15 (3)	13 (3)
<3年>	短足 (16)	36 (19)	34 (15)	24 (12)	22 (8)
<4年>	毛深い (22)	29 (22)	26 (12)	23 (13)	22 (19)
<5年>	毛深い (24)	26 (24)	23 (16)	23 (14)	19 (12)
<6年>	毛深い (27)	35 (27)	28 (19)	26 (15)	26 (15)

表1 いやだなベスト5

* それぞれの数字を合計したもの

・男女別

男子	女子
1. きず (75)	1. 毛深い (89)
2. 短足 (71)	2. きず (78)
3. ほくろ (53)	3. チビ (75)
4. チビ (51)	4. デブ (68)
5. デブ (40)	5. かお (66)
	声 (64)

表3 いいと思うベスト5

※それぞれの%を合計したもの

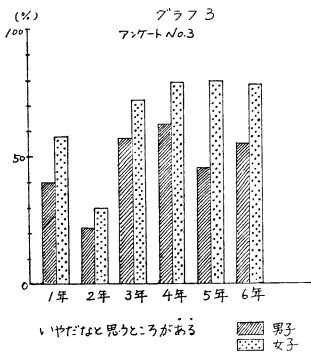
・男女別

〈男子〉		〈女子〉	
1. 足が長い (46)		1. 髪 (100)	
2. 色が黒い (39)		2. 足が長い (47)	
3. 声 (28)		3. 声 (44)	
4. きず (26)		4. 色が黒い (27)	
5. かお (25)		5. 色が白い (21)	

学年はみな半数を超え、四・五・六年生では、ほぼ八割の者が、自分の体にいやだと感じるところがあると答えているのである。女子は男子よりも強く自分の体にコンプレックス(劣等感)を抱えていることになる。この差はどこから生じるのだろうか。

表1と表2の「いやだなベスト5」は、いやだなあと思っている」と答えた部分を、多い順に男女別・学年別で示したものである。男女別を見ると、男子は合計数が50%を超えたものは、きず・短足・ほくろ・チビのみにとどまったが、女子はベスト5次点の声・ほくろにおいても64(%)と高い数字を示している。いろいろな部分に「いやだな」と感じる女子の劣等感の根強さを示しているともいえる。

また、いやだなと感じる部分の違いにも注目しておきたい。きず・ほくろの存在といった男女共通の悩みのほか、男子は短足・チビ・デブと体型のみにとどまっているが、女子は毛深い・かお・声なども高い数字を示している。



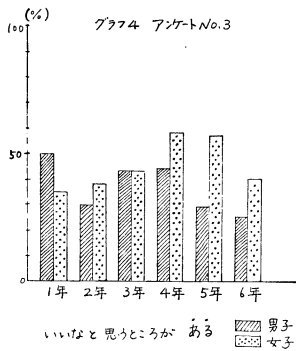
るのである。チビ・デブといった第一印象で評価されるもの以外に、細かい部分でありその人らしさが出るともいえる毛深さ・声、かおにこだわるといふことから、女子の方が自分に対して注がれる人の視線を意識しているといえるのではないだろうか。

次に学年別の内訳を見ると、低学年では男女共ほぼ同じ部分に「いやだ」と感じているのに対して、四・五・六年と学年があがるに従って、女子の毛深い・声・かおなどがいやだという数字が目立って多くなっていくのである。つまり、高学年になる程、特に女子は人の視線を気にするようになる。対人関係意識が強くなるといえるのではないだろうか。

2 劣等感と優越感

次に「いいな」と感じていることとの比較も行ってみた。

グラフ4は「問三、B、あなたは自分の体についていいなと思っているところがありますか。」という質問に「ある」と答えた児童の割合を、男女別に



グラフにしたものである。いやだなと感じるといふグラフ3と比べると、一年の男子、二年の男女を除いて、グラフ4はすべてグラフ3より低い数字を示している。つまり、男女共、低学年を除いては「いいな」と思っているところがある。が「いやだな」と思っているところがある。より少ないのである。男女共に、優越感より劣等感の方をより強く感じているといえるようである。一年男子、二年男女が「いいな」の方が8/10%、「いやだな」より多いが、三年から五年では男子で14/19%、女子で21/29%「いやだな」の方が「いいな」を上まわっていくのである。六年生になると、男子は30%、女子においては38%と、その差は大きくなる。つまり、学年が進むほど、児童の意識は、優越感から劣等感へと向いていくといえるのではないかと。

また、男女を比べてみると、「いやだな」と感じるものが少なかった男子は、逆に「いいな」と思っているところがあるかというところでもなく、

3 背の高さよりくつのサイズ

体のサイズを知っていますか、という問いに対しては、くつ一体重一身長一パスト・ウェスト・ヒップの順に高い数字を示している。

くつのサイズについては、一年生から男女共八割以上、女子の三年生からはほぼ全員が「知っている」と答えている。くつのサイズは子どもたちにとってたいへん身近なものであり、大きくなるとその都度くつをはきかえなければならぬということもあり、身長・体重などに比べて知る必要性が大きいといえることは言えるだろう。子どもたちは、一九・五できつくなったから二〇・〇、と大きくなっていくくつのサイズに自分の成長を見、それを成長のパロメーターとしているのではないだろうか。業者の、次はこのデザイン、次はこれという刺激も手伝わってか、子どもたちは意外に足元に意識がいきて、足元を自分の特徴をあらわすものとしてとらえている、ということがこのアンケートでわかってきた。(なま

まいきの展開 参照)

体重については、男子も94%という

表4 いいと思ふベスト5

・学年別 ()内は女子

学年	1	2	3	4	5
1年	かきす 17 (4)	足が長い 13 (0)	髪が長い 12 (12)	髪が長い 11 (14)	髪が長い 8 (8)
2年	足が長い 18 (8)	髪が長い 17 (11)	髪が長い 13 (5)	髪が長い 9 (3)	髪が長い 9 (3)
3年	髪が長い 24 (7)	髪が長い 22 (18)	髪が長い 14 (6)	髪が長い 13 (9)	髪が長い 9 (4)
4年	髪が長い 18 (17)	髪が長い 14 (11)	髪が長い 8 (6)	髪が長い 7 (1)	髪が長い 6 (3)
5年	髪が長い 26 (14)	髪が長い 20 (7)	髪が長い 19 (16)	髪が長い 14 (8)	髪が長い 9 (5)
6年	髪が長い 31 (30)	髪が長い 21 (8)	髪が長い 15 (9)	髪が長い 6 (5)	髪が長い 5 (4)

五年生を除いては、どの学年も男子より女子の方が10〜20%多く「知っている」と答えている。また、男女共、高学年になる程、関心が高まっているといえる。体重を気にするのは、一部の太り過ぎを気にする児童だけではないのである。

身長についても、一年生を除いて、男子より女子の方が知っている率が高く、六年女子は九割が知っていると答えている。

バスト・ウエストは、男子がほとんど一割未満と低い数字であるのに対して、五、六年女子は二〜三割とやや高くなっている。高学年女子の自分の体

に対する意識が強くなってきていることの表われだろう。

4 おしゃれもします!? 女の子

5では、持ちものについて尋ね、持っているものすべてに○をつけてもらった。

装飾品が多かったため、女子の方が圧倒的に持っているものが多かった。ただ、時計については全学年、男女共、高い数字を示している。実際に、聖徳学園小学校など電車通学をしている児童にとって腕時計は生活必需品となっている。その割に、腕時計の落し物はよくある。落し物として公表されても自分のものだと思えない子さえいる。また幼稚園児の時間を読みとることさえできないのにキャラクター商品の腕時計を持ち離そうとしない姿を見ていると、子どもたちは時計も装飾品の一部程度に感じているのではないかと思えてくる。

ネックレス・ペンダント・ブローチなど装飾品について、男子は一〜三年では多少興味があるようだが、以降はほとんど持っていない。女子は、装飾類はすべて六・七割は「持っている」と答えている。(おしゃれ用品もこれだけ持っていると答える子どもたち、現代の物質的な豊かさの一部を見られるような気もする。)このアンケートではブランド品についても調査を試みたが、日頃トレーナーやくつなどブランド品にこだわってみせる男子の姿とはうらはらに、アンケート結果はあまり子どもたちにブランド志向は見

られなかった。

また、ここにあげた持ちものに対する意識は、学年にそれほど差が見られなかった。(聖徳学園小・須崎恵子)

5 大人へのあこがれ、香水

アンケート6では、「香水を持っているか」「香水をつけてみたいか」を聞き、子どものおい(香り)に対する感覚を見た。

その結果を見ると、当然のことかもしれないが、男子よりも女子の方が、「香水を持っている」のも「つけてみたい」も割合が高くなっている。女子の方が男子よりも人の目を意識し、自分をいやだなあと思う子が多い(アンケート7)ことも関連して、香水をつけることによつて、違ったものに自分を変えたいという願いが強いといえるかもしれない。

また、割合が低いといつても、男子も一割前後の子が「香水を持っていて」や「つけてみたい」と答えている。そして、六年男子以外は「持っている」より「つけてみたい」の割合が高くなっている。つまり、男子でも香水に対する(大人へのあこがれがあるといえるだろう。特に二・三年は「つけてみたい」がそれぞれ二十パーセント、二十七パーセントと、興味があるようだ。低学年のうちには、男子でも、おいのついた消しゴムやボールペンなどを好きで持っていることが多いことも考え合わせて、この頃の子どもがにおいに関心があるといえるかもしれない。

ところが、五、六年になると「つけてみたい」がそれぞれ四パーセント、五パーセントと低くなっている。高学年男子になると、香水に対するあこがれを持つことに対して、香水なんて女みたいとか、いやらしいとかいうような反発がでてくるのではないだろうか。それに、自分というものができてきて、自分に自信を持ちはじめていくから、香水のようなものの存在を必要と感ぜないのかもしれない。

女子の方を見てみると、一〜三年は「香水を持っている」より「つけてみたい」割合が多く、約半数が「つけてみたい」と思っている。(一年58%、二年46%、三年42%)しかし、四年になると、急に「持っている」より「つけてみたい」が少なくなり、二十三パーセントしかつけないと思ってしまう。これは香水を持っていてもつけたくないということである。五・六年になるとまた増加しているのを見て、この四年女子の結果は特別だといえるだろう。この年の子には、香水をつけることに対して、自分らしさがなくなってしまうというような、ある種の「つつばり」が出てくるのではないだろうか。後からまた述べられるが、四年生は人から知られてるのを特に気にする学年なのである(アンケート8)が、自分を変に背伸びさせたくはないという気持ちを持っているようないきさつがあるのである。

そして、その四年をすぎると、大人へのあこがれとしての香水への関心が

また除々に強くなってきているといえるだろう。四年という一つの過渡期を経て、五年、六年と大人へ近づいていくのである。

6 早口なのに……?

私達は、早口であることをなまじき条件の一つとして考えてきた。つまり、言語能力がすぐれていて早口な子どもは、頭の回転が早く、なまじき子どもだろうと考えたわけである。

そこで、アンケート11では「自分が早口だと思うか」「人から早口だといわれるか」を聞いて、子どもの早口に対する意識を見てみたが、学年による傾向、特色などはあまり見ることができなかつた。

「自分が早口だと思う」のは、一年から六年まで男女ともに二十パーセント前後でたい同じくらいであった。また、「人から早口だといわれる」のは、五・六年女子を除いて「自分で思う」より低く、十パーセント前後である。五・六年女子だけは、二十三パーセントで他とくらべて高くなっている。

実際に子ども達を見ていると、中高学年くらいになると、とても子ども達は早口になってくる。特に高学年女子の会話などを聞いていると、実にテンプよく早口で会話しているように見えるのだが、アンケートを見たかぎり、子ども達は「早口」ということその意識はしていないということ、ただし、五・六年女子で少し意識されるようになってくるといことがいえそうである。

7 優越意識の変化

アンケート9では、「人よりひいでているものがあると思うか」そしてそれは「どんなものか」を聞き、子ども達の優越意識を見てみた。

その結果は、まず「人よりひいでているものがあると思う」のは、男女共に一年生が圧倒的に多く、他の学年と差がある。(二年男子73%、女子81%)そしてそのひいでていることの中心としてあげられているのは、「かけっこがはやい」「鉄棒がうまい」などほとんどが体育・運動のことである。一年生段階では「運動の何かが人よりできることイコール人よりひいでていることだ」と、自信を持っていえるという事といえるだろう。

一年生以外の学年では「ひいでているものがあると思う」が三十パーセントから五十パーセントくらいで大きな差は見られない。ただ、一年生に比べて、次の二年生が男女共一番「ひいでていると思う」割合が低くなっている。そして、三年になるとまた「思う」が増えている。これは、二年生になると、一年生でできていた価値判断がくずれ、自分に対しての自信を持ってなくなることを表しているといえるかもしれない。(一年の自信にあふれた姿にくらべ、夢がしばみ、二年は落ち込んだ姿が見えるような気がする。)それが、三年になるとまた新しい価値判断を見つけ自信を取りもどすのである。ひいでているものの中には、運動的

なものだけでなく、遊びや性格的なものが出てくる。だが、それは一年生と違い、一つの決まったものでなく、多様化されてくるので、一年のように多くが「思う」と言えず、また徐々に少なくなってくるのであろう。

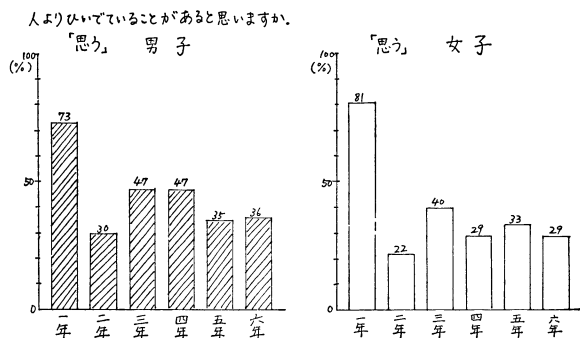
さて、もう一度ひいでているものの中身を見ていくと、先に述べたように、一年生では運動がすぐれていれば、自信を持ってひいでているといえだが、二年でそれが自信といえなくなると、その後だんだん学年が進むにつれ何がひいでているかは、実に多様化してくる。もち論、運動的なことが多くていいるが、けいこごと、遊び、性格的なものも多くなってくる。六年生などは、「やさしい」「明るい」などというのをあげている人数が運動とあまり差がないし、四年生ではゲームが多くなっている。

つまり、子どもにとっての優越意識は、学年が上がるにつれて多様になるので、そのたぐさんのものの中から何を自分のひとでているものととらえることができず、ゆれているといえるだろう。

- 一年——優越意識≡運動
- 二年——くずれる
- 三年——再こうちく
- 四年——
- 五年——優越意識の多様化ゆれうごき
- 六年——

(練馬富士見台小・榎本 当子)

グラフ5 アンケートNO.9



〈なまじきの展開〉

自分らしさの追求と自己変革

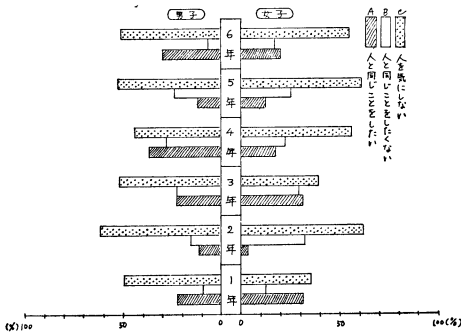
アンケート7の「自分らしさがどこによくでていると思うか」の設問からは、次の様な結果が得られた。

1 自分らしさはくつで表す

まず、服装の項目として挙げた、アクセサリー、くつ、かばん、ソックスの四つの品の中で、自分らしさができるものとして選ばれたのは、男女共に全学年を通して、くつが圧倒的に多かった。

それにしても、どうして、こんなにくつばかり意識がいくのだろうか。そう言えば、学校で必ず起こるいたず

グラフ6 アンケートNO.10



らに、くつ隠しがある。また、高学年になると、ブランド物のシューズを欲しがったり、上履きの踵をわざと潰して履く子どもでくる。このことから子ども達が、自分らしさを表すものとして、くつを意識していることがわかる。

また、四年男子では、くつの次に、自分らしきを出すものとして、ソックスを挙げている。これもくつと同様に、この時期の子ども達が、半ズボンの脚に白いハイソックスを穿き、靴下留めでピシッと決めてくることに表れている。子ども達にとっても、足元は、自分らしさを表す、おしゃれのポイントであるのかもしれない。

ただ、一年女子では、くつの次にアクセサリに自分らしさが表れるとされている者が多いが、これは、自分らしさを表すと言うよりアクセサリそのものに、おもちゃや宝物と同様の関心

があるためだと考えられる。

2 笑顔がいちばんチャイミング

次に、表情の項目の中で、子どもが自分らしさを表すものとして、一番多く挙げたのは笑顔であった。これも、くつと同様に男女共全学年を通じて言えることである。ただ、男女を比べると、男子よりも女子が多く、また学年間では、一年と六年に、笑顔と答えた子どもが多く見られた。笑顔が、男子より女子に多いというのは、やはり、周囲が女子に愛嬌を要求するせいであろうか。また、一年が多く、笑顔を挙げているのは、少なくとも学校内に於いては、回りから可愛いがられる立場にあり、他学年に比べて、ふくれたりいじけたりすることが少ないことが関係があるのかもしれない。また、六年に於いては、笑顔で自分らしさを表わしたいという願望の表れではないだろうか。

ただ、六年の女子に、ふくれ面を挙げている子が四人に一人いることが目立つ。これは笑顔を挙げている子が多い中にある、「自分は違う」という自己主張の表れであり、そこに生いざしが感じられはしないだろうか。

3 坐り方より歩き方、腕より指

しぐさの項目では、坐り方より歩き方、また、腕の組み方より、指の使い方、また、腕の組み方が表れていると答えている者が多い。

このことは、静的なしぐさより動的なしぐさに、自分らしさが表れ易いことを意味している。また、動的なしぐ

さに自分らしさを表し易いことも、事実である。子ども達は、無意識のうちに、このことを感じとっているのである。

4 大声に自分らしさを感じる

どのような声に、自分らしさを感じていると思うかの問いでは、大声と答えた者が一番多く見られた。

これは、大きな声を出すことによつて、自分の存在を回りに示そうとするこの表れではないだろうか。また、このことは、バカ笑いについても言えそうである。実際、大声の次に、自分らしさを表すものとしてバカ笑いを挙げている子が多いのである。

ただ、バカ笑いが、六年女子に目立って多いのは、自分らしさを表すというよりも、仲間意識を表明するためのポーズとして、バカ笑いをする自分を意識したためと思われる。

また、高学年になると、低い声に自分らしさを見出すようになる。このことは、特に男子に於いては、変声期を迎えることと関係があると思われる。変声期を迎えることは、大人に一步近づいた証しであり、自分と他の子との違いを明確に自覚する機会となる。低い声は、この時期の子ども達にとっては、一種の憧れをもつて、肯定的に受け入れられる傾向にあるようである。

5 男の子は、スポーツ選手

女の子は、歌手にあこがれる
なまいきは、憧れの対象(手本)に自分を少しでも近づけようと、精一杯

背伸びして、模倣しようとする姿勢であると見えよう。子ども達が、どんな人物に憧れを感じ、その手本を求めようとしているかを探るために、アンケート14を設問した。

その結果、男子はスポーツ選手、女子は歌手をあこがれの対象として選んだ者がほとんどであった。しかし、それは、あくまでも、単なるお気に入りとしての憧れの人物に過ぎず、その生き方を自分に採り入れ、模倣しようとする、お手本となる人物ではなさそうである。スポーツ選手や、歌手を選んだ理由としては、「カッコいい」、「かわいいう」が多く、そこには、選び方に於いて、自分を主張しようとする意識は、見られない。一方、憧れの人物の選び方に於いて、自分を主張しようとする意識のある子は、スポーツ選手や歌手を選ぼうとはせず、他の子が意外と思うような人物を敢えて挙げたり、理由もつけている。しかし、このような生いざきの姿勢を表す子は、極くわずかであった。

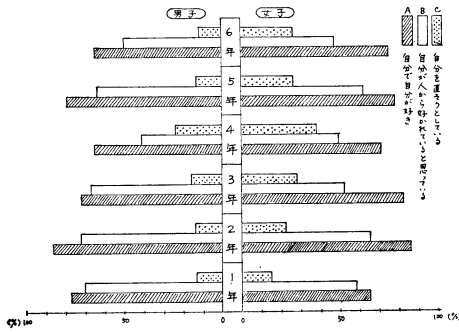
(相模原向陽小・堀江久子)

6 「人を気にしない」は本音?

「人と同じことをしたいかしたくないか」についてのアンケートでは、日頃の子ども達の様子から当然「人と同じことをしたい」という答えが一番多いだろうと予想していた。しかし、予想は見事にはずれて、「気にしない」という答えが多く、子ども達の行動とは裏腹な結果が出た。

それにしても、子ども達は本当に他

グラフ7 アンケート NO8.



の人のことを「気にしない」のであろうか。日頃の子どもの達の言動からは、心からそう思っているとは考えられない。本音は「人と同じことをしたい」と思っているのだけれど、建前として「気にしない」と答えた方が「人と同じことをしたい」と答えるよりは良い、あるいはより正しいのだと判断しているのではないだろうか。

しかし、現実にはこれを建前として持ち切れず、積極的にみんなと同じようにしたいという意識はないのだけれど、無意識のうちになんと同じようなことをしているのである。

子ども達の間でもさかんに使われた「気にしない、気にしない」という流行語は、気になるからこそ意識的に「気にしない」と言い聞かせるための言葉であった筈である。

子ども達は、本音で「気にしない」のではなく、「そういう時には大勢は

気にしないものなのか」と大勢に習うだけであり、それが今回のアンケートで子ども達の日頃の行動とは裏腹な結果が出る原因となったのではないだろうか。

7 四年は自己変革の過渡期

アンケート8の集計結果を見ると、全学年男女共「自分で自分が好き」と答えている方が、「自分で自分が嫌い」と答えている方よりも多い。

また、自分が「人から好かれているか嫌われているか」の問いでは、四年が男女共、他の学年に比べて「好かれている」という意識が低い。

さらに、自分が「人から嫌われている」と思っている子の中で、自分を「直そうとしている」のは全学年男子よりも女子の方が多い。また、これを学年別に見てみると、男女共四年が「直そうとしている」割合が一番多く、三年から四年にかけてこの割合が急上昇している。

逆に、自分が「人から嫌われている」と思っているにもかかわらず、「直そうとしない」のは一年以外のどの学年も女子より男子の方が多く、男女共三年がその割合が一番多い。

以上、大まかに集計結果を述べてみたが、他学年に比べて四年の結果が特徴的であるのは、何を示唆しているのであろうか。他学年に比べて四年の結果が特徴的であるというのは「嫌われている」という意識が一番強く、しかも自分を「直したい」すなわち、自己変革をしたいと思っている割合が一番

多いということである。

ギャング・エイジと呼ばれ、実に伸び伸びと行動的に振るまい、人の思惑など気にしているとは思えそうにもない四年においてこのような結果が出たのは意外であった。

一方、同じようにギャング・エイジと呼ばれている三年を見てみると、四年ほど「嫌われている」という意識はなく、また嫌われていてもそれほど強く自分自身を変えようとは思っていない。

この意識の違いは何を意味するのであろうか。

三年と四年は同じようにギャング・エイジと呼ばれて似ているようではあるが、はっきりした違いがあると思われる。すなわち、三年は行動的であるが、その行動は決してなまじきなものでなく、親（の干渉）から解放された喜びからのものである。

それに比べ、四年は表面的には三年と同じように行動的、外交的であるように見えるが、実際にはかなり内攻的なのではないだろうか。それは四年頃から本人にははっきりとした自覚はないものの、自意識が芽生え始め、自己の内面性の複雑さや社会の仕組みもわかりかけてきて、不安を感じるようになるからである。それだけに、四年頃は人からの評価に敏感になり易く、不安感が被害意識と結びついて、自分が「人から嫌われている」と答えた割合が全学年の中で一番多い結果となったものと思われる。

また、すでに述べたように、三年では「嫌われている」と思っている、それほど強く自分を「直そうとはしない」のに、四年になると男女共自分が「直そう」と一番よく努力する。四年になってこの割合が急上昇するのは、三年から四年にかけて意識の変革が行われている表われである。

三年は、自分を「直そうとしない」一番の理由として「めんどうくさいから」ということを挙げていた。

この「めんどうくさい」という言葉は、子ども達にとってかなり難しい言葉であるにもかかわらず、子ども達は早くから使う言葉の一つである。もう少し成長してからこの言葉が使われる場合には開き直りの気持ちが含まれてくるが、三年の段階でこの言葉を使う場合は開き直りを意味してはいない。

三年頃の子どもの達の行動が衝動的であるのは当たり前で自然のことであり、深く考えなくても行動できるのが三年である。そのような子ども達が考えることを要求された際、考える方法も何もわからないからよく嫌がるが、そんな時に使われるのがこの「めんどうくさい」という言葉である。

すなわち、三年の子どもの達にとって「めんどうくさい」という言葉は、単に考えることを拒否する時に使う言葉であり、「わかんない」と言うのと似ている。このことは、三年は人の思惑など全く気にしていないことを示している。

ところで、自分を「直そうとしな

い」わけをはっきりと理由づけできる
ようになるのは五、六年になってから
であり、四年はそのための過渡期とな
っている。

このように見てくると、一番手のか
からない学年として、話題になること
の少ない四年という学年をもう一度し
っかり見詰め直してみる必要があるそ
うである。

8 自己変革の展開

ところで、自分が「嫌われている」
と知っている子ども達の意識は、その
後どのように展開していくのであろ
うか。

自分が「嫌われている」と思ってい
る子は、一年男子だけは約二割と比較
的少ないが、それ以外ほどの学年も男
女共三割〜五割もいて、思いの外多
い。自分が人から「嫌われている」と
思うことは大人にとっても辛いこと
である。この辛いという感情を子ども達
は自分の心の中でどのように処理し、
どのように克服しようとしているので
あろうか。

「嫌われている」と思う意識は、嫌わ
れている自分を「直そうとする」方向
と「直そうとしない」方向のいずれか
に向かう。

「嫌われている」と思っているにもか
かわらず、「直そうとしない」方向に
向かった子ども達の「直そうとしな
い」理由を見てみると、大きく五つの
型——諦め型、無関心型、自己主張
型、自己弁護型、反抗型に分けること
ができる。

諦め型は三・四・五年に多く、「直
そうと思っても直せない」「どう直し
ていいかわからない」「直しても同じ
だから」「仕方がない(せんない)」「
大変だから」「もうだめだから」「し
んどい」ということを「直そうとしな
い」理由に挙げています。この諦め型に
は、未練が感じられる諦めと開き直り
まではいかないけれどあっさりした諦
めとの二つのタイプがある。また、こ
の諦め型は「直せるものなら直した
い」と思っているので、表面的には
「直そうとしない」方向に向かいなが
ら、いずれは「直そうとする」方向へ
意識を向かわせるものと考えられる。

無関心型は三年と六年に多く、「め
んどうくさい」「別にどうでもいい」
「そんなこと考えていない」「直す気
がない」ということを理由に挙げてお
り、自分が他人からどのように思われ
ているかということに無関心である。
当然のことながら、自己変革をしよう
という気はない。

自己主張型は六年に多く、「自分ら
しきがなくなる」「自分をもっと大切
にしたい」「人のために自分を変える
のはいやだから」「自分の今までの性
格がわからなくなるから」「このまま
の方がいいから」「自分の思い通りや
っていきたいから」ということを理由
に挙げており、自己をはっきりと意識
しているだけに、自分を変えるつも
りはない。

自己弁護型は三・五・六年に見られ
るが、「自分で悪いと思っていないか
ら」「みんなが悪いから」「くせだか
ら」ということを理由に挙げています。
自分自身このままでいいと思ってい
るので、やはり自己変革をしようとする
気はない。

反抗型は三〜六年にバラつき、「好
きになってもらいたくもない」「嫌わ
れてもいい」「嫌われている方が気持
ちがいい」「好かれても何にもならな
いから」「私の嫌いな人が私を嫌って
いるのだから」「友達が一人でもいる
から」とその理由を挙げています。し
かし、これらの理由には強がりを感じら
れ、「直せるものなら直したい」とい
うのが本音と思われる。

一方、「直そうとする」方向に向
った子ども達の理由を見てみると、大
きく三つの型——向上型、友好型、防
衛型に分けることができます。

向上型は四年と五年に多い。「もっ
といい自分をつくりたい」「生まれか
わった自分でいたい」「いい人になり
たい」「もっと明るくなりたい」「も
っとかっこよくなりたい」「悪いこと
をしない人になりたい」「自分がいや
だから」ということを理由に挙げてお
り、自己変革に意欲的である。

友好型は五、六年に多く「もっと人
に好かれないから」「みんなと仲良く
したいから」「もっと友達をふやした
いから」ということを理由にあげてい
て、自己変革に意欲的である。

防衛型は三年に多く、「友達がいな
くなってしまうから」「嫌われたくなく

いから」「人に悪口をいわれたくない
から」「みんながこわいから」という
ことを理由に挙げています。友好型が積
極的であるのに対し、防衛型は消極的
で受身的である。

全体的に見ると、今の子ども達にあ
まりなまいきさは感じられない。むし
ろ、精一杯自己変革しながら自分を人
に合わせるようとする子ども達の姿
を見ることが出来る。

しかし、このことは同時に、子ども
達にとって大勢ということがいかに重
くのしかかっているか、子ども達がい
かに大勢に打ちひしがれそうになっ
ているかということでもある。

大勢に順応しようとする子が多い中
にあって、自己をはっきりと意識し、
自分らしさを大切にしようとする精一杯生
いきさを発揮して、大勢に逆らおうと
している子ども達もいる。自己主張
型、自己弁護型の子ども達である。こ
のようになまいきさを発揮して、大勢
に抵抗しながら精一杯生きようとして
いる子ども達こそ健気さ、いじらし
さを感じると同時に、このような子ども
達にこそ賞讃に価すると思う。

(座間中原小・依光玉恵)

からだどこのところについてのアンケート

小学校

年

男・女
どちらか
○つけ

◎しつもんをよくよんで、こたえてください。こたえは○でかこんでください。○はいくつでもよい。

1 あなたは、じぶんのことをなまいきだと……A
✓B
✓C

A 思っていますか。………はい
B 思われていますか。………はい
C 思われていると思っっていますか。………はい

○つけ↓

その人と仲がよいですか？	○つけ↓	上級生	同級生	下級生	兄	姉	弟	妹	いとこ	先生	親
その人が好きですか？	よい・わるい	よい・わるい	よい・わるい	よい・わるい	よい	よい	よい	よい	よい・わるい	よい・わるい	よい
その人が好きですか？	すき・きらい	すき・きらい	すき・きらい	すき・きらい	すき	すき	すき	すき	すき・きらい	すき・きらい	すき

2 あなたは、自分のまわりになまいきだと思っう人がいますか。いたら○でかこんでください。

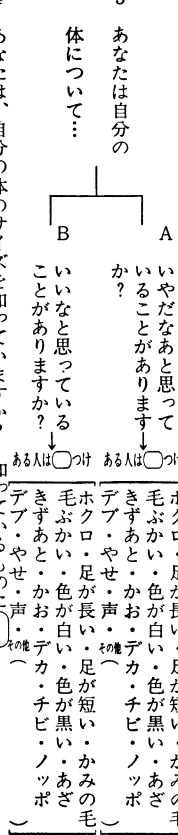
○つけ↓

その人と仲がよいですか？	○つけ↓	上級生	同級生	下級生	兄	姉	弟	妹	いとこ	先生	親
その人が好きですか？	よい・わるい	よい・わるい	よい・わるい	よい・わるい	よい	よい	よい	よい	よい・わるい	よい・わるい	よい
その人が好きですか？	すき・きらい	すき・きらい	すき・きらい	すき・きらい	すき	すき	すき	すき	すき・きらい	すき・きらい	すき

3 あなたは自分の体について…

○つけ

その人(○をつけた人)と仲がよいですか？	○つけ	上級生	同級生	下級生	兄	姉	弟	妹	いとこ	先生	親
その人が好きですか？	よい・わるい	よい・わるい	よい・わるい	よい・わるい	よい	よい	よい	よい	よい・わるい	よい・わるい	よい
その人が好きですか？	すき・きらい	すき・きらい	すき・きらい	すき・きらい	すき	すき	すき	すき	すき・きらい	すき・きらい	すき



- 4 あなたは、自分の体のサイズを知っていますか？
- 5 あなたのもっているものは、どれですか？
- ブランドもの
- アディダス
 - アシックス
 - ナイキ
 - パーマー
 - ラコステ
 - マンシング ニクラウス (マーク・略)
 - ペンダント
 - ブローチ
 - リボン
 - ポシエット
 - ウエスト
 - ヒップ

		1 あなたは 自分を なまいきだと……																			2											
		A 思っていますか		B 思われていますか		B 誰からでしょう								C 思われていると思う		C 誰からでしょう								なまいきだと思う人がいますか								
		はい いいえ		はい いいえ		上	同	下	兄	姉	弟	妹	い	先	親	はい	いいえ	上	同	下	兄	姉	弟	妹	い	先	親	上	同	下	兄	
%		はい	いいえ	はい	いいえ										はい	いいえ											はい	いいえ				
男	1年	20	80	43	57	10	20	3	3	3	0	3	0	3	3	37	50	13	23	0	3	0	3	0	7	3	10	27	23	10	0	
	2年	14	84	38	58	4	14	2	10	4	0	6	6	2	4	44	54	6	8	8	12	6	2	2	12	4	2	12	50	14	12	
	3年	33	67	35	65	23	16	4	7	7	4	3	1	5	7	41	57	20	19	11	4	4	4	5	5	4	8	16	55	35	5	
	4年	37	54	55	41	19	33	7	13	13	7	2	6	3	7	53	38	19	34	8	9	8	3	3	4	3	4	30	62	36	11	
	5年	31	68	42	57	15	21	7	7	7	3	0	2	3	11	36	60	11	20	7	5	7	2	0	1	4	7	16	42	32	4	
	6年	36	64	44	53	11	22	4	8	4	3	2	2	1	3	40	52	13	22	3	4	3	1	1	1	4	1	8	50	39	0	
女	1年	19	81	38	62	15	19	0	4	0	0	0	0	0	0	31	50	8	15	0	4	0	0	0	0	0	0	8	23	8	0	
	2年	14	86	41	59	3	14	0	0	14	3	0	3	0	8	38	59	11	14	0	0	8	0	0	5	0	2	16	49	11	3	
	3年	27	73	40	58	12	22	8	5	9	0	6	5	8	8	45	54	25	22	9	5	9	0	5	6	6	11	18	60	40	4	
	4年	47	55	64	37	19	36	6	13	13	0	5	7	3	8	70	27	16	27	2	15	19	3	2	5	1	6	12	49	26	10	
	5年	30	68	45	53	10	14	1	4	5	2	3	1	0	10	54	41	15	27	4	3	5	1	2	1	0	3	11	49	33	3	
	6年	46	53	44	53	12	18	3	8	12	3	1	1	4	7	54	40	13	30	1	5	5	5	2	2	3	6	5	42	41	6	

調査人数

(名)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
男子	30	50	75	120	107	107
女子	26	37	67	86	92	102

※表中の数字はすべて、回答数の調査人数に対する割合をパーセントで表わしたものである。したがって無答のものがある場合等は「はい」「いいえ」の合計が必ずしも100パーセントにならない。

		2										3																			
		なまいきだと思う人がいますか					A いやだと思うところが		A いやだと思うところは												B いやと思うところが										
		姉	弟	妹	い	先	親	ある	ない	ほろ	足	足	か	毛	色	魚	あ	き	か	ア	チ	ソ	ア	や	声	他	ある	ない	ほろ	足	足
%																															
男	1年	3	0	0	7	3	3	40	60	0	0	7	0	0	0	0	0	20	0	0	0	7	3	3	0	50	50	0	0	0	
	2年	10	2	6	6	4	4	22	58	18	2	10	8	2	6	2	10	12	4	8	12	4	8	6	10	30	62	2	10	2	
	3年	5	9	9	4	0	5	57	41	12	1	20	4	1	7	4	9	15	8	1	12	0	4	5	4	43	56	3	5	1	
	4年	4	7	3	10	4	6	63	30	8	2	14	5	3	7	5	3	10	7	5	8	3	7	7	7	44	46	0	12	2	
	5年	11	8	5	1	3	5	46	51	7	0	8	1	2	3	3	2	7	7	1	8	2	9	4	6	29	65	0	13	0	
	6年	1	10	6	3	0	1	55	44	8	2	12	4	6	7	1	1	11	8	1	11	1	9	4	1	5	25	71	2	6	1
女	1年	0	4	0	0	0	0	58	38	15	0	0	4	0	4	0	23	12	8	0	12	0	4	0	8	35	58	4	12	0	
	2年	8	5	5	3	0	0	30	81	8	0	0	0	5	0	5	3	3	5	0	16	0	3	0	3	38	62	3	8	3	
	3年	6	3	7	12	7	6	72	28	7	0	16	7	12	3	4	15	19	10	7	12	1	18	10	13	43	57	0	4	0	
	4年	8	3	3	7	0	1	79	19	13	1	12	3	19	1	5	2	13	15	1	10	2	10	7	22	58	41	0	14	0	
	5年	2	8	17	8	1	1	79	20	5	0	10	9	24	1	13	1	16	12	4	10	4	14	8	9	57	40	3	8	0	
	6年	2	7	4	11	1	0	78	23	16	0	7	12	29	3	7	5	15	16	6	15	4	19	8	9	40	55	3	1	2	

各学年毎の
調査校内訳
()の数字は女子とする

1年	2年	3年	計
聖徳 15 (11) 中原 15 (15) 計 30 (26)	聖徳12 (6) 中原15(15) 横山第223(16) 計 50(37)	聖徳 34(14) 中原 16(20) 新田 13(18) 桃川 12(15)	75(67)

%	8						9		10			11				12				13		14								
	他	A 自分で 自分が		B 自分から		B なおそう として		人よりい でているも のがあると		人と同じこと を A B C			A 自分で 早口だと		B 人から 早口だと		兄弟がいる				両親の 年齢を		あこがれ の人が		あこがれの人は					
			す	き	て	か	い	る	思	い	と	し	気	思	い	お	い	兄	姉	弟	妹	知	知	い	い	少	拳	イ	取	ほ
男	1年	77	20	70	17	13	0	73	17	23	10	50	17	73	10	67	47	17	30	13	43	47	37	50	27	7	0	0	0	
	2年	86	12	52	38	14	24	30	68	12	16	62	20	78	4	88	38	20	22	16	32	42	42	58	24	2	0	0	16	
	3年	72	27	57	41	15	25	47	53	23	23	52	24	72	13	84	33	16	28	24	53	44	65	35	35	7	4	1	17	
	4年	65	26	41	47	24	16	47	41	27	18	44	18	74	11	79	28	23	24	22	48	43	49	48	41	8	3	1	2	
	5年	79	19	64	30	13	14	35	63	12	24	62	15	85	8	88	26	22	37	20	45	47	50	49	38	2	4	1	6	
	6年	65	30	50	37	12	18	36	59	30	7	61	20	80	11	88	27	19	32	25	49	41	48	52	23	7	2	1	13	
女	1年	65	27	58	27	15	8	81	15	31	12	35	19	73	4	35	27	23	23	12	54	31	27	58	4	12	0	0	12	
	2年	86	14	65	38	22	5	22	78	3	32	62	19	81	16	81	35	11	30	11	92	3	57	43	8	32	0	0	8	
	3年	82	16	52	42	28	15	40	57	31	19	49	18	84	6	87	22	27	25	39	61	28	52	45	9	27	0	0	15	
	4年	71	27	50	47	38	2	29	66	17	22	56	14	85	9	87	37	27	17	22	65	34	48	50	16	24	2	0	6	
	5年	78	20	62	33	26	3	33	62	12	25	61	21	79	23	77	25	29	25	32	67	30	61	39	11	38	1	0	12	
	6年	75	25	47	42	26	7	29	64	20	17	55	22	76	23	76	25	27	27	22	63	29	61	34	13	39	1	0	9	

(アンケート№3) いやだと思っていること いいなと思っていること} その他記入欄		合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
いやだ なと思 って らる こと	• にきび, しみ, そばかす, イボ, ホクロ	14	2			4	2	6
	• 目, 鼻, 耳, 口	10			1	5		4
	• 歯 (歯並び, 八重歯, 虫歯)	6			4	2		
	• 手, 腕, 指 (太い, 短い, やせ)	5	1			1	1	2
	• アレルギー, アトピー, 心雑音, 腎臓	4		1			3	
	• 性格 (意地悪, 短気)	4				2	2	
	• 胸 (ありすぎ)	3					1	
	• 足 (太い, 悪い, 魚の目)	3			1	1		2
	• 健康 (すぐ疲れる, 病弱)	3				2		1
	• 足が遅い	2					1	1
	• 顔や頭の形	2				1	1	
	• 頭 (勉強ができない)	2				1	1	
	• メガネ	2				1		1
	• 名前, あだ名	2				1		1
	• プス	2				2		
	• 走り方	1						1
	• まゆげ (うすい)	1						1
• 体 (かたい)	1						1	
• けんか (弱い)	1						1	
• 腹 (ふくらみすぎ)	1				1			
• 言葉づかい	1							
合計	70	3	1	7	24	14	21	
いいな と思 って らる こと	• 目, 鼻, 耳, 口	14				8	2	4
	• 健康	8				8		
	• 足 (速い)	2		1		1		
	• 頭 (勉強ができる)	2				1	1	
	• 筋肉	2						2
	• 足 (サイズ, 頑丈)	2				1		1
	• 性格 (明るい, ひょうきん)	2				2		
	• 肌 (色白)	1				1		
	• 指 (つめの形)	1						1
	• えくぼ	1					1	
	• けんか (強い)	1		1				
	• 全体	1					1	
	合計	37	0	2	0	22	5	8
(アンケート№8) 自分で自分がきらい 【直そうとしていないわけ】		合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
諦 め 型	• 直そうと思っても直せないから	5		1	2	2		
	• どう直していいかわからないから	1						1
	• 直しても同じだから	1			1			
	• 仕方がない (せんない)	3					3	
	• 大変だから	1				1		
	• しんどいから	1						1
	• もうだめだから	1				1		
合計	13	0	1	3	4	3	2	
無 関 心 型	• めんどくさいから (やっこしい)	10		1	5	1	1	2
	• 別にどうでもいいから	3						3
	• そんなこと考えていないから	1					1	
	• 直す気がないから	3		1		1		1
合計	17	0	2	5	2	2	6	
自 己 主 張 型	• 自分らしさがなくなるから	8			1		1	6
	• 自分をもっと大切にしたいから	1						1
	• 人のために自分を変えるのはいやだから	1						1
	• 自分の今までの性格がわからなくなるから	1						1
	• このままの方がいいから	6			2		2	2
	• 自分の思い通りにやっていきたいから	2			1	1		
合計	19	0	0	4	1	3	11	

自己弁護型	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で悪いと思っていないから ・みんなが悪いから ・くせだから 	2 1 1			1			1
	合計	4	0	0	1	0	2	1
反抗型	<ul style="list-style-type: none"> ・好きになってももらいたくないから ・嫌われてもいいから ・嫌われている方が気持ちがいいから ・好かれても何にもならないから ・私の嫌いな人が私を嫌っているのだから ・友達が一人でもいるから 	2 2 1 1 1 2			1 1	1		1 1 1
	合計	9	0	0	2	1	4	2
(アンケート№8) 自分で自分がきらい【直そうとしていないわけ】		合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
向上型	<ul style="list-style-type: none"> ・もっといい自分をつくりたいから ・生まれかわった自分でいたいから ・いい人になりたいから ・もっと明るくなりたいから ・もっとかっこよくなりたいから ・悪いことをしない人になりたいから ・自分がいやだから 	3 2 1 1 1 1 2		1		1 1	1 1	1
	合計	11	0	1	0	4	5	1
友好型	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと人に好かれたいから ・みんなと仲良くしたいから ・もっと友達をふやしたいから 	13 5 3			3 1	1 1	2 1	7 6 1
	合計	21	0	0	4	2	8	14
防衛型	<ul style="list-style-type: none"> ・友達がいなくなってしまうから ・嫌われたくないから ・人に悪口をいわれたくないから ・みんながこわいから 	9 7 1 1			2 4	3	2 1 1	2 2
	合計	18	0	1	6	3	4	2
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・直そうとしても直せない ・おもしろいから 	3 1			1	2		
	合計	4	0	1	0	2	0	0

(アンケート№9) 人よりすぐれていると思うこと		合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学 習	・算数, 計算	15	3	1	5	2	2	2
	・勉強ができる	10		1	2	3	1	3
	・頭がいい	10	1		4	1	2	2
	・社会, 地理, 歴史	7			3		2	2
	・国語, 漢字, 本読み, 字, 作文	6			2	1	3	
	・理科, 科学	2			1	1		
	・英語	1	1					
	・テスト	1		1				
	・ペーパー	1	1					
	・自由研究	1				1		
	・問題をとくこと	1				1		
合計	55	6	3	17	10	10	9	
ス ポ ー ツ ・ 趣 味	・体育 (マラソン, かけっこ, すもう, 鉄棒 etc)	74	18	7	16	22	9	2
	・スポーツ (野球, サッカー, 水泳, バスケット etc)	57		3	4	21	20	9
	・楽器 (ピアノ, バイオリン)	16	5		1	6	3	1
	・図工 (絵, 工作, 折り紙 etc)	15	3		2	2	6	2
	・ゲーム (オセロ, 将棋, 五目ならべ, 陣とり)	9		1	1	6		1
	・音楽 (メロディオン, 笛, 歌 etc)	8			4	3		1
	・家庭科 (料理, 手芸 etc)	5		1			3	1
	・犬のこと, 虫とり, つり	4						4

(アンケートNo.9) 人よりすぐれていると思うこと		合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・習字, そろばん ・自転車にのること ・バレエ, 馬術 ・百人一首 ・プラモデルづくり 	3	1					2	
	合計	198	31	12	28	60	42	25	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・性格 (やさしい, 明るい, 活発 etc) ・身体 (顔, 身長, 胸囲 etc) ・身ぶり (笑い方, 笑顔, 声 etc) ・よくお手伝いする ・人づきあい (人と楽しくできる) ・けんかが強い ・まね (怪獣の声, 女の声) ・手先が器用 ・係の仕事, すぐ代表になりたがる ・カンがさえてくる ・姿勢がよい ・らくがき 	13			2			4	7
	6		1	1	1	2	1	1	
	4		1						
	4				4				
	5					1	2	2	
	2		1	1					
	2		1	1					
	2							1	
	2					1		1	
	2					1	1	1	
	1	1							
1		1		1					
合計	44	1	5	9	4	9	16		

(アンケートNo.14) あこがれる人とあこがれるわけ		予想されなかったもの	
人	わけ	人	わけ
<ul style="list-style-type: none"> ・江川 中 畑 ・原 王 ・クロマテア 吉 村 ・た お 掛 瀬 ・スティーブ 田 淵 ・水 野 高 木 ・篠 塚 etc ・マッケンロー ・ボルダ ・マラドーナ・カールルイス ・瀬古 佐々木七恵 ・宗兄弟 ・岩田 稔 大 谷 ・江 上 広 瀬 ・奥 寺 釜 本 ・ベ レ 若 林 ・ルンメニグ 木 村 ・長崎ひろ子 高橋清美 ・聖子 明 菜 ・チェッカーズのフミヤ ・シブガキ隊 ・田原俊彦 マッチ ・小泉今日子 早見優 ・石川秀実 ・薬師丸ひろ子 ・前川 清 ・マイケルジャクソン ・ドリフターズ ・さんま 北野武 ・ジャッキー・チェン ・ブルース・リー ・堺紀世 (マンガ家) ・中村ひろ子 ・マンガの主人公 ・友人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームランをよく打つから ・打率がいい ・阪神ファンだから ・野球もうまいし, カッコいい ・ピッチャーでカッコいい ・テニスが強いの ・スポーツマンでカッコいいチャンピオン ・マラソンが速い ・一所けん命走っている ・ジャンピングサーブがカッコいい ・バレーのエース 根性がある ・サッカーがすきだから ・サッカーがうまい ・キーパーがとてもうまい ・フリーキックの名人 ・水泳がうまい ･ プレストが速い ・カッコいい ･ かわい ・きれいな (美人) ･ 声がいい ・スマート ･ プロポジションがいい ・色が白い ･ 歌がうまい ・踊りがうまい ・あつさりしていて明るい ・歌がすきだから ・きれいでかわいい洋服を着ている ・男っぽい ･ 笑わなくておもしろい ・歌と踊りが得意 ・おもしろい人たちだから ・楽しい ・かっこよくてひょうきん ・世界一空手が上手 ・絵が大好き ・ピアノが上手 ・カッコいい ・おもしろい ･ やさしい ・かわい ･ 親切 ･ 運動が得意 ・心が穏やか ･ 肌が白い ･ 美人 etc 	<ul style="list-style-type: none"> ・松田聖子 ・ベーターベン ・ハーワードカーター ・松本伊代 ・レーニン ・古橋しんのすけ ・コナンドイル ・イルカ ・テニスの人 ・岩崎ちひろ ・紫式部 ・薬師丸ひろこ ・チェッカーズ ・渡哲也 ・鈴木健二 ・ヒットラー ・吉森こずえ ・吉川晃司 ・チェッカーズのフミヤ ・テニスの人 ・松田聖子 ・阪神のバース ・ロジャー・ムーア 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしいひとみをもっているから (2年) ・作曲家になるまでのくらしに感動した。(3年) ・ツタンカーメンの墓でたった1人だけファラオのろいにかからなかったから (3年) ・目つきがいい (4年) ・自分から革命をおこし, 自分で国をつくって働く人を国の主人公として扱ったから (5年) ・スイミングがうまいから (3年) ・有名なたんていのシャーロックホームズを書いたから (4年) ・声がかっこいい, ラジオなどでできていて疲れな (4年) ・かっこいいし, 自分の将来のもとになってくれる (4年) ・いつも楽しい美しい絵をいっている (4年) ・えらくて有名で頭がいいから (5年) ・落ちついた声, 歌い方 (6年) ・賞をもらうために歌うのでなく一般市民の前で歌を歌うこと (6年) ・しぶい (6年) ・頭がよくて, 記憶がよく, 礼儀正しい (6年) ・クーデターをおこしていろいろ国のために力を尽して捨て身になって国を守るところがいい, (6年) ・手がないので自分で自分の力で生きている。(6年) ・うれているけど, うかれないう男っぽい (6年) ・自分の意志がはっきりしている。(6年) ・優勝してもあまり喜ばないから (6年) ・今までいろいろいわれてもくじけななし, いつも笑っているし, やさしくて思いやりがある。しぐさにもでている。(6年) ・打撃すごい, 活やくする, 野球の勉強になる。 ・自分がやってみたいと思うことをやっている。